

2025年9月14日作成 Ver.2.0

## 《情報公開文書》

## 病棟に専従する管理栄養士の配置が熱傷患者の栄養摂取量に与える影響

## 研究の概要

【背景】熱傷（やけど）の患者さんでは、体に大きなダメージを受けることで代謝が非常に活発になり、その状態が長く続きます。そのため、必要なエネルギー量が大きくなり、十分な栄養をとれないと合併症を引き起こすことがあります。また、熱傷患者さんでは筋肉のたんぱく質が分解されやすく、傷口からもたんぱく質が失われるため、十分なたんぱく質をとる必要があるされています。

【目的】当院では、2023年7月から形成外科の病棟に専従の管理栄養士を配置することで、患者さん一人ひとりの状態に応じた栄養管理を行い、必要な栄養が十分に得られるよう努めております。この研究では、病棟に専従の管理栄養士を配置することで熱傷（やけど）の患者さんが摂取される栄養の量にどのような影響を与えるか、また栄養管理計画書のスクリーニングスコアと CONUT 変法を用いた栄養状態の評価に及ぼす影響を調べることを目的としています。

【意義】病棟に専従する管理栄養士を配置することで熱傷（やけど）の患者さんの必要な栄養をしっかりとれるようにすることで、栄養の状態がよくなり、元の生活に早く戻れるようになる可能性があります。

【方法】病棟に専従の管理栄養士を配置した期間と病棟に専従する管理栄養士がいない期間の熱傷（やけど）の患者さんの得られる栄養の量と養管理計画書のスクリーニングスコアと CONUT 変法を用いた栄養状態のを調査します。また、合併症や在院日数に影響しているか統計的に検討します。

## 対象となる患者さん

2021年7月1日から2025年6月30日までの期間に熱傷（やけど）で形成外科を主治医に11階西病棟に入院し、10日以上入院した18歳以上の患者さん。また、救命救急センターから転科し形成外科が主治科に11階西病棟へ入院し、10日以上入院した18歳以上の患者さん。

## 研究に用いる情報

## ●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・入院時の情報：熱傷の日時、熱傷の範囲、熱傷予後指数
- ・入院時、退院時の情報：栄養管理計画書の記録の記録から年齢、性別、身長、体重、体格指数、血液検査の結果（アルブミン、C反応性タンパク、ヘモグロビン、末梢血リンパ球数、総コレステロール）、栄養管理計画書のスクリーニングスコア

<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院中の情報：11 階西病棟に入院から 1、5、10 日目、退院日前日に摂取されたエネルギー量・タンパク質量、管理栄養士の関わった情報（関わった開始日、日数、食事変更の内容）</li> <li>・退院時の情報：退院時の転帰（自宅退院、他医療機関への転院、介護施設への入所、死亡退院）</li> </ul> <p>本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。</p>	
<b>情報の利用開始予定日 / 提供開始予定日</b>	
<p>本研究は 2025 年 9 月 18 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。</p>	
<p>あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。</p> <p>ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。</p> <p>あらかじめご了承ください。</p>	
<b>研究実施期間</b>	
研究機関長の許可日～2026 年 3 月 31 日	
<b>研究実施体制</b>	
研究責任者	所属：長崎大学病院 栄養管理センター 氏名：北 和貴 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7240
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
<b>問い合わせ先</b>	
<p><b>【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】</b></p> <p>長崎大学病院 栄養管理センター 北 和貴          〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号          電話：095 (819) 7200 FAX 095 (819) 7240</p>	
<p><b>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</b></p> <p>苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200          受付時間 : 月～金 8:30～17:00 (祝・祭日を除く)</p>	